



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

玉井商船

平成22年11月4日

上場取引所 大

上場会社名 玉井商船株式会社  
コード番号 9127 URL <http://www.tamaiship.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本馬 修

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 木原 豊

TEL 03-5439-0260

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	3,494	51.4	446	—	69	—	21	—
22年3月期第2四半期	2,307	△47.2	△268	—	△347	—	△212	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	1.10	—
22年3月期第2四半期	△11.01	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	12,509	4,287	33.1	214.25
22年3月期	9,853	4,382	42.9	218.88

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 4,137百万円 22年3月期 4,227百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	3.00	3.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,900	20.6	860	317.5	430	305.7	250	309.8	12.95

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 \_\_\_\_\_）、除外 一社（社名 \_\_\_\_\_）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 19,320,000株 22年3月期 19,320,000株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 8,898株 22年3月期 8,399株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 19,311,143株 22年3月期2Q 19,311,626株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間に於ける世界経済は、米国では緩やかな回復が続き、ユーロ圏でも中核をなすドイツなどで景気回復が続き南欧諸国の景気低迷を補い全体として堅調を維持し、アジアでは中国を筆頭に景気拡大基調が続き、世界全体では新興国に牽引される形で緩やかに回復を続けました。一方、わが国経済は、新興国向けへの輸出好調や政策効果による耐久消費財の販売好調などを背景に景気は回復しつつも、夏場を過ぎてからの対米ドルで円高が急進し輸出産業に深刻な影響を及ぼしました。

外航ドライバルク船の海運市況は、緩やかに景気回復する世界経済を背景に堅調に推移しました。しかし、ケーブサイズ型など大型船の市況は、7月から8月にかけて鉄鉱石の最大輸入国である中国が価格高騰した鉄鉱石の輸入を絞り国内産の原料で賄ったため、鉄鉱石の海上荷動き量が低調となり市況は一時的に低迷しました。

このような状況下、当社グループの外航海運部門では、第2四半期連結累計期間を通し燃料油の高止まりと対米ドルが円高へ推移するというマイナス要因もありましたが、堅調に推移した市況を背景に高採算のスポット・カーゴ等を獲得できたことや効率的な輸送に努めた結果、対前第2四半期連結累計期間比では大幅な増収となりました。一方、内航海運部門では、国内景気回復から内航貨物の荷動き量が僅かながら回復したものの収益の大幅な改善には至りませんでした。当社グループ全体では、前第2四半期連結累計期間比で大幅な増収となりましたが、連結子会社であるT.S. Central Shipping Co., Ltd. が所有する船舶3隻を代替建造する目的で締結したコミット型シンジケート・ローン契約に係る組成手数料などが発生したため、経常損益以下の各段階損益は小幅な利益となりました。

この結果、営業収益は3,494百万円（対前第2四半期連結累計期間比1,186百万円、51.4%増）、営業利益は446百万円（前第2四半期連結累計期間268百万円の営業損失）、経常利益は69百万円（前第2四半期連結累計期間347百万円の経常損失）、また四半期純利益は21百万円（前第2四半期連結累計期間212百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ・外航海運業

支配船舶による国内向けボーキサイト輸送を主に、北米からの輸入穀物や南米からの水酸化アルミなどの輸送を行い、運航採算の向上に努めました。

営業収益は、円高による影響が大きかったものの、海運市況が比較的安定的に推移したことや5月に竣工した新造船の航海が完了し、また、短期用船による航海数が増加したことで、2,774百万円となりました。営業費用は、航海数が増加したことによる運航費の増加、短期用船による借船料の増加などがあり、全体として増加しました。以上の結果、営業利益は、720百万円となりました。

#### ・内航海運業

所有船によるボーキサイト残渣輸送、定期用船2隻による水酸化アルミなどの輸送、所有船1隻による重油輸送を行い、安全輸送と効率配船に努めるとともに、所有船1隻の定期貸船により安定収益の確保を図りました。

営業収益は、内航貨物の荷動き量が僅かながら回復したものの大幅な収益改善には至らず、642百万円となりました。営業利益面では、定期用船1隻が減少したことによる借船料の減少などにより、10百万円の営業利益となりました。

#### ・その他

不動産賃貸事業並びに保険代理店事業においては、営業収益は、76百万円、営業利益は、26百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,655百万円増加し、12,509百万円となりました。主な内容は、流動資産が主に現金及び預金の減少などにより731百万円減少し、一方、固定資産は、主に船舶、建物の取得、建設仮勘定の増加などで3,387百万円増加したことによるものです。負債は8,222百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,751百万円の増加となりました。これは、前受金の増加などによる流動負債の増加が460百万円、長期借入金の増加などによる固定負債が2,290百万円増加したものであります。

純資産は配当金57百万円などによる株主資本の減少36百万円とその他の有価証券評価差額金の減少による評価・換算差額等合計の減少52百万円と少数株主持分の減少6百万円により、前連結会計年度末に比べ95百万円減少し、4,287百万円となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、営業活動の結果得られた資金927百万円、投資活動の結果使用した資金3,848百万円、財務活動の結果得られた資金2,168百万円などを加減した結果、前連結会計年度末に比べ814百万円減少し、1,805百万円となりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、927百万円です。（前第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は、4百万円でした。）これは、税金等調整前四半期純利益47百万円が計上されているうえに、減価償却費410百万円などの非資金費用の調整などがあり、支払手数料276百万円、前受金の増加290百万円などの増加項目に、仕入債務の減少額107百万円、利息の支払額55百万円などの減少項目を加減した結果によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、3,848百万円です。（前第2四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は、392百万円でした。）これは、主に船舶及び土地・建物の有形固定資産の取得による支出3,847百万円などによるものです。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果得られた資金は、2,168百万円です。（前第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、507百万円でした。）これは、主に連結子会社であるT.S. Central Shipping Co., Ltd. が所有する船舶3隻を代替建造する目的で締結したコミット型シンジケート・ローン契約に基づく長期借入れによる収入2,713百万円及び支払手数料276百万円、長期借入金の返済による支出270百万円、株主への配当金の支払額58百万円などによるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期連結会計期間以降における業績予想の見直しを行なった結果、平成22年8月5日付当社「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました平成23年3月期の連結業績予想を修正しております。

なお、第3四半期以降の為替レート及び燃料油価格は下記の通り想定しております。

	前回予想 (平成22年8月5日公表)	今回予想 (平成22年11月4日公表)
期中平均為替レート	1US\$=90円	1US\$=80円
予想燃料油価格	US\$500/MT	US\$500/MT

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益は、それぞれ423千円減少し、税金等調整前四半期純利益は、4,045千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は11,508千円であります。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,805,359	2,619,851
海運業未収金	234,801	285,634
貯蔵品	158,662	266,629
繰延税金資産	158,170	52,266
その他流動資産	289,938	154,226
流動資産合計	2,646,932	3,378,608
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	7,326,951	4,499,065
建物（純額）	325,757	289,079
器具及び備品（純額）	4,713	5,889
土地	161,238	147,928
建設仮勘定	1,220,000	608,664
その他有形固定資産（純額）	8,181	9,164
有形固定資産合計	9,046,842	5,559,791
無形固定資産		
投資その他の資産	5,933	6,684
投資有価証券	528,418	633,104
繰延税金資産	171,178	164,060
その他長期資産	110,112	111,601
投資その他の資産合計	809,709	908,766
固定資産合計	9,862,485	6,475,242
資産合計	12,509,418	9,853,850

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
海運業未払金	236,294	343,806
短期借入金	62,000	—
1年内返済予定の長期借入金	567,550	504,697
未払法人税等	129,909	14,675
前受金	578,798	287,994
賞与引当金	46,494	49,002
その他流動負債	144,925	105,597
流動負債合計	1,765,971	1,305,773
固定負債		
長期借入金	5,759,302	3,378,340
繰延税金負債	101,512	122,452
退職給付引当金	197,758	221,009
特別修繕引当金	144,973	135,045
長期未払金	123,400	190,760
資産除去債務	11,605	—
その他固定負債	117,863	117,854
固定負債合計	6,456,414	4,165,461
負債合計	8,222,385	5,471,235
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	702,000	702,000
資本剰余金	280,268	280,268
利益剰余金	3,135,008	3,171,680
自己株式	△1,107	△1,029
株主資本合計	4,116,168	4,152,919
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21,314	74,086
評価・換算差額等合計	21,314	74,086
少数株主持分	149,549	155,608
純資産合計	4,287,032	4,382,615
負債純資産合計	12,509,418	9,853,850

## (2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
海運業収益	2,235,027	3,417,237
海運業費用	2,219,800	2,661,809
海運業利益	15,226	755,428
その他事業収益	72,681	76,820
その他事業費用	21,090	18,082
その他事業利益	51,591	58,738
営業総利益	66,818	814,166
一般管理費	334,912	367,829
営業利益又は営業損失(△)	△268,094	446,337
営業外収益		
受取利息	2,048	435
受取配当金	9,072	7,698
保険解約返戻金	—	7,041
燃料油売却益	—	6,128
その他営業外収益	1,177	1,384
営業外収益合計	12,297	22,688
営業外費用		
支払利息	47,040	59,975
支払手数料	—	276,605
為替差損	43,864	53,622
その他営業外費用	611	9,375
営業外費用合計	91,516	399,579
経常利益又は経常損失(△)	△347,313	69,446
特別損失		
投資有価証券評価損	—	18,503
退職特別加算金	3,006	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	3,622
特別損失合計	3,006	22,125
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△350,319	47,320
法人税、住民税及び事業税	3,448	128,583
法人税等調整額	△143,291	△100,224
法人税等合計	△139,842	28,359
少数株主損益調整前四半期純利益	—	18,961
少数株主利益又は少数株主損失(△)	2,235	△2,300
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△212,712	21,262

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
海運業収益	1,133,920	1,879,229
海運業費用	1,059,012	1,384,033
海運業利益	74,907	495,196
その他事業収益	36,214	37,801
その他事業費用	10,211	8,757
その他事業利益	26,002	29,043
営業総利益	100,910	524,239
一般管理費	163,238	152,703
営業利益又は営業損失(△)	△62,328	371,536
営業外収益		
受取利息	1,297	148
受取配当金	24	30
保険解約返戻金	—	7,041
燃料油売却益	—	4,318
その他営業外収益	291	1,288
営業外収益合計	1,612	12,826
営業外費用		
支払利息	22,848	32,364
支払手数料	—	6,990
為替差損	25,642	35,808
その他営業外費用	67	1,264
営業外費用合計	48,558	76,427
経常利益又は経常損失(△)	△109,274	307,935
特別損失		
投資有価証券評価損	—	13,085
退職特別加算金	3,006	—
特別損失合計	3,006	13,085
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△112,280	294,850
法人税、住民税及び事業税	2,135	91,002
法人税等調整額	△46,186	30,229
法人税等合計	△44,050	121,232
少数株主損益調整前四半期純利益	—	173,618
少数株主利益又は少数株主損失(△)	869	△1,439
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△69,099	175,057

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△350,319	47,320
減価償却費	321,278	410,444
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,184	△2,507
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△29,180	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△17,785	△23,251
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	△17,970	9,928
受取利息及び受取配当金	△11,120	△8,133
支払利息	47,040	59,975
支払手数料	—	276,605
為替差損益(△は益)	49,888	61,534
投資有価証券評価損益(△は益)	—	18,503
売上債権の増減額(△は増加)	77,905	63,232
たな卸資産の増減額(△は増加)	△71,618	107,967
その他の資産の増減額(△は増加)	△103,579	△164,301
仕入債務の増減額(△は減少)	190,689	△107,512
前受金の増減額(△は減少)	334,397	290,803
その他の負債の増減額(△は減少)	△52,166	△79,470
その他	7	12,378
小計	365,283	973,516
利息及び配当金の受取額	11,120	8,133
利息の支払額	△50,395	△55,813
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△330,450	1,293
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,441	927,130
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△309	—
定期預金の払戻による収入	400,000	—
有形固定資産の取得による支出	△12,608	△3,847,044
有形固定資産の売却による収入	5,500	—
投資有価証券の取得による支出	△2,070	△2,189
貸付金の回収による収入	1,620	1,020
その他の支出	△290	—
その他の収入	813	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	392,655	△3,848,214
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,600	62,000
長期借入れによる収入	—	2,713,952
長期借入金の返済による支出	△275,955	△270,137
支払手数料	—	△276,605
配当金の支払額	△230,576	△58,045
少数株主への配当金の支払額	△2,960	△2,960
その他	△15	△78
財務活動によるキャッシュ・フロー	△507,907	2,168,125
現金及び現金同等物に係る換算差額	△49,888	△61,534
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△169,581	△814,491
現金及び現金同等物の期首残高	2,584,024	2,619,851
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,414,443	1,805,359

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	外航海運業 (千円)	内航海運業 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
営業収益						
(1) 外部顧客に 対する営業収益	817,235	316,684	36,214	1,170,134	—	1,170,134
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	817,235	316,684	36,214	1,170,134	—	1,170,134
営業利益又は営業損失(△)	54,452	14,091	11,043	79,587	(141,915)	△62,328

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	外航海運業 (千円)	内航海運業 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
営業収益						
(1) 外部顧客に 対する営業収益	1,609,562	625,464	72,681	2,307,709	—	2,307,709
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,609,562	625,464	72,681	2,307,709	—	2,307,709
営業利益又は営業損失(△)	96,619	△93,878	21,481	24,222	(292,317)	△268,094

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な事業内容は以下のとおりです。

外航海運業	ボーキサイト輸送や穀物輸送を行っております。
内航海運業	水酸化アルミ輸送、重油輸送の他、ボーキサイト残渣の海上運搬処分を行っております。
その他	賃貸用不動産を所有し、不動産賃貸業を営んでおります。

## 【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (千円)	リベリア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	1,170,134	—	1,170,134	—	1,170,134
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	18,000	412,390	430,390	(430,390)	—
計	1,188,134	412,390	1,600,524	(430,390)	1,170,134
営業利益又は営業損失(△)	212,332	△21,297	191,035	(253,363)	△62,328

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (千円)	リベリア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	2,307,709	—	2,307,709	—	2,307,709
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	40,400	823,211	863,611	(863,611)	—
計	2,348,109	823,211	3,171,320	(863,611)	2,307,709
営業利益又は営業損失(△)	142,890	△859	142,030	(410,125)	△268,094

## 【海外営業収益】

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

海外営業収益が連結営業収益の10%未満のため、海外営業収益の記載を省略しております。

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	北米	中南米	中近東	計
I 海外営業収益(千円)	109,834	87,573	72,370	269,778
II 連結営業収益(千円)	—	—	—	2,307,709
III 連結営業収益に占める 海外営業収益の割合(%)	4.8	3.8	3.1	11.7

- (注) 1 国または地域の区分方法は、地理的近接度によっております。  
2 各区分に属する主な国または地域は以下のとおりであります。  
北米：アメリカ 中南米：パナマ共和国 中近東：アラブ首長国連邦(UAE)  
3 海外営業収益は、連結財務諸表提出会社の本邦以外の国又は地域の取引先に対する営業収益であり、貨物の積地又は揚地、あるいは、貸船先の所在地により、区分しております。

## 【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

### 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主として、内外航船舶をもって海上の貨物輸送を行い、運賃、貸船料等の海運業収益を得ることを目的とする海運業を営んでおります。また、その他に賃貸用不動産を所有し不動産賃貸業や保険代理店業を営んでおります。

従って、当社は海運業を基礎とした外航・内航別セグメントから構成されており、「外航海運業」及び「内航海運業」の2つを報告セグメントとしております。

「外航海運業」は、ボーキサイト輸送、水酸化アルミ輸送や穀物輸送を行っております。「内航海運業」は、水酸化アルミ輸送、重油輸送の他、ボーキサイト残渣の海上運搬処分を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外航海運業	内航海運業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	2,774,641	642,596	3,417,237	76,820	3,494,058	—	3,494,058
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,774,641	642,596	3,417,237	76,820	3,494,058	—	3,494,058
セグメント利益	720,926	10,984	731,911	26,034	757,946	△311,609	446,337

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業及び保険代理店業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△311,609千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結会計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外航海運業	内航海運業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	1,558,106	321,122	1,879,229	37,801	1,917,030	—	1,917,030
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,558,106	321,122	1,879,229	37,801	1,917,030	—	1,917,030
セグメント利益	430,602	58,100	488,702	12,238	500,941	△129,404	371,536

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業及び保険代理店業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△129,404千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

該当事項はありません。